

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 多機能型事業所 来歩

公表日

令和6年 10月 28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	活動によって教室内の配置を変えたり、広いフロアで過ごせるよう他部署と連携調整を行なっている。	規定は満たしているが、児童の成長に伴い狭さを感じることもある。教室内の配置変更、場合によっては相談室や静養室を臨機応変に使用しています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	活動内容により、他部署にヘルプ依頼し調整をしている。	個別支援が必要な児童が多い時には、対応する職員が今以上に必要だと感じる。日頃から他部署との連携を密にし、依頼し対応できる体制作りを行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		年に3回、長期休暇時の利用調整と共にアンケートを実施している。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		朝礼や休憩時間など、必要に応じて情報を共有しアプローチしている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修委員を設置して調整や検討、実施している。他部署とも連携し定期的に研修を実施している。	職員の資質に合わせて研修内容を検討し、専門職員からの指導が受けられる機会を増やしていきます。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		定期的に会議を実施し、立案や検討を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		年度毎にテーマを決めて活動に反映している。	保護者からのニーズや他事業所の活動を参考に、固定化しない活動プログラムを検討します。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		送迎後に支援の振り返りを実施、勤務時間の違う職員や休み職員へも情報共有アプリを活用し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		活動時や役割を決める際など、選択肢をいくつか準備し楽しく自己選択できるよう支援を行なっている。	自己選択が難しい児童へのアプローチや資材の工夫を引き続き検討し実施していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		送迎時の確認、連絡ツールアプリを使用し情報共有や調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		同法人内にある児童発達支援事業所(夢のテラス)と連携を密にし情報共有を行なっている。	相談支援事業所や保育園等と連携し、情報共有に努めます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		必要性の高い研修や会議には参加している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		4	同事業所内の保育園児との交流あり。	保護者からのニーズに合わせて検討、実施していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		送迎時や必要に応じて電話連絡にて情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		事業所でできたこと等、支援方法や状況等の情報共有を行っている。	職員間で情報共有や研修を行い、全職員が対応・支援できるよう努めます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		送迎時や電話対応、必要に応じて面談を実施し、丁寧に行なわれている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		4		保護者参加型の活動を検討したり、アンケート等で保護者のニーズを把握し、内容に合わせて検討していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			苦情に繋がりそうなケースは都度職員間で情報共有や振り返りを行い、迅速かつ適切に対応できるよう、日頃から研修等を実施します。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		ブログやインスタグラム等、SNSを活用し発信している。	参加型の活動を企画する等、積極的に家族でSNSを見てもらえるような情報や活動を発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		年間計画に沿ってマニュアル周知の研修や訓練を実施している。	家族への周知が充分ではないため、SNSや文書等を使用し、安心していただけるよう周知に努めます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		個人カルテや連絡帳にて確認し、看護師にも情報共有、体勢を整備している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		活動前にお知らせを配布、使用する食材を提示し、活動毎に確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		他部署にも報告書を共有し、対応や支援に入れるよう連携を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		日頃から他部署との連携を密にし様々な視点から研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				